

平成29年度
学校関係者評価報告書



平成29年10月
学校法人帯広コア学園
帯広コア専門学校

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価委員会

- ・開催日時 平成 29 年 10 月 19 日 (木) 16:30～17:30
- ・開催場所 帯広コア専門学校 41 教室

学校関係者評価委員 (敬称略)

氏名	所属	属性
平 秀明	帯広北高等学校長	高校
鈴木 義尚	帯広商工会議所 事務局長	団体
奥 康裕	株式会社ズコーシャ IT 事業部部長	企業
成田 貢	トータルフーズ株式会社取締役管理部長	保護者
南出 雅樹	有限会社マミィ 代表取締役	卒業生

事務局

神山 恵美子	理事長兼校長
村川 貴康	事務長

2. 評価対象期間

自:平成 28 年 4 月 1 日

至:平成 29 年 3 月 31 日

3. 実施方法、配布資料、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様には「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の質向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

(資料)

- ・平成 28 年度事業報告資料
- ・帯広コア専門学校 自己評価報告書
- ・学校パンフレット一式

4. 評価基準毎の学校関係者評価

評価項目毎に委員からの評価について報告します。

全員から基準 1 から基準 10 まで基本的には適切であると評価を受けました。

学校関係者評価全体的な点数の付け方に関して、客観的ではなく主観的な要素が入っているのではないかとご指摘がありました。

例：「【1-1】理念・目的・育成人材像は定められているか」が定められているのであれば内容がどうであれ4ではないか？

次年度以降はその点を十分留意して評価することを周知しますとお応えいたしました。

以下、個々にいただいた意見について、各項目毎にご報告します。

(1) 教育理念・目的・育成人材像等

- ・ 社会環境の変化に対応して検討を加えているとのことは評価できる
- ・ 時代に合わせて地域のニーズに応じて変化していくのは良いことである
- ・ かなり厳しい意見も出ているが、卒業生はしっかりと教育されている（採用されている企業から）

(2) 学校運営

- ・ 教職員の人事考課においては、自己目標の設定と自己評価を取り入れた方が良いのではないか
- ・ 待遇面に関しては、経営者的な視点を持ってもらえるよう働きかけるべきではないか

(3) 教育活動

- ・ 当社にもコアの学生を数名採用しているが、社会人として教育されていると感じている（挨拶がきちんとでき、コミュニケーション能力ややる気もある）
- ・ 学生に関する（資格取得の指導体制）で自己評価が4となっているのは評価できる

(4) 教育成果

- ・ 親の立場から、就職率の内容は常に明確（正社員、アルバイト等の区分）に表してほしいとの意見があった（本校では、アルバイトは就職として含めていないことを伝えた）
- ・ 卒業生に関する調査等は、必要ではないか

(5) 学生支援

- ・ 学生に関する項目（学生相談に関する体制）で自己評価が4となっているのは評価できる
- ・ 卒後教育が今後の教育にも反映されるので必要ではないか

(6) 教育環境

- ・ 開校から30年と老朽化している個所もあるようだか、比較的きれいだ
- ・ 今年度は一部教室にエアコンを増設したことを伝え、次年度以降も徐々に設備の入替え等を検討していくと説明した

(7) 学生の募集と受け入れ

- ・ 募集の面で、札幌等の学校へ行った場合との経済的負担の違いを数字で比較した資料を準備すると良いのではないか

(8) 財務

- ・ 今年度は新学科（歯科衛生士科）を開設したことで予算が厳しいとのことだが、帯広コア学園の監査をしている立場としては、学校の財務状況は健全で監査は適正なものである（監事からの発言）

(9) 法令等の遵守

- ・ 自己評価の情報公開や就業規則等を見直し中とのことであり、対応はほぼ適切である

(10)社会貢献

- ・ 学生に関する項目（社会貢献）については、力を入れているようであり自己評価が4となっているのは評価できる

以上